

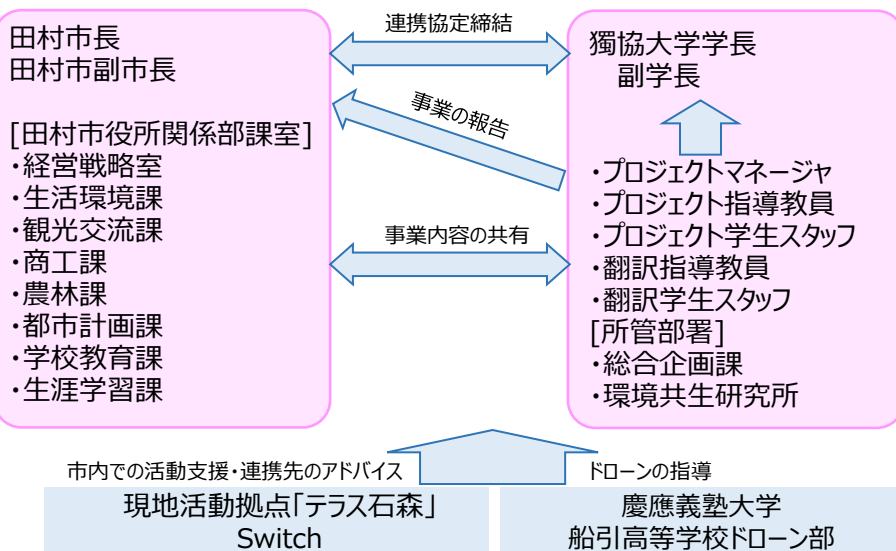
外国語教育、環境教育を活用した「持続可能なまちづくり」創造事業

事業の概要

本学と浜通り市町村との間で継続的な関係を構築し、これまで大学が培ってきた「外国語教育」「環境教育」に関する資源やノウハウを活かした事業を展開し、**本学におけるSDGs達成の担い手育成**と**浜通り地域の復興・活性化に貢献する人材育成**を目的とする。

- (1) **SDGs** および**パリ協定**の目標達成に向けて、**脱炭素社会**の実現、**再生可能エネルギー100%**を目指して、**サーキュラー・エコノミー(循環経済)**および**地域循環共生圏**のモデル地域として、田村市をはじめとして、浜通り市町村において取り組む。
 ◀単なる災害からの復興ということにとどまらず、環境に配慮した「**持続可能なまちづくり**」を具現化した新たなまちづくりを目指し、新しい来るべき未来の私たちの生活の在り方や持続可能な暮らしについて考えていく。
- (2) 本学の強みである外国語教育を活用して、自然環境や観光資源をはじめ、環境回復や本事業進捗の状況を**多言語化**する活動に協力→本学の学生のみならず、地域の子どもたち・若者に支援
- (3) **フィールドワーク**として本学の教職員や学生が現地に入って活動することで、地域の現状を知り、地域資源を把握し、問題点に気づいて課題に落とし込む→福島震災復興に貢献できることを考え、さらには日本の地方が抱える問題を考える。
 ▶若者が魅力のある浜通り、福島県、そして日本の将来像を作っていくことができるようにする。

【市町村との連携体制の構築】



【人材育成目標】

持続可能な社会を実現するために**地域社会や国際社会において活躍できる人材を育てる。**

⇒具体的には、本学の学生、地域の子ども・若者、社会人について、次のような能力を育成

- ▶能動的に情報を収集し、整理し、問題を発見し、課題を設定できる能力
- ▶**バックキャスティング(backcasting)**で考える能力
- ▶課題解決に向けて、主体的に行動し、地域関係者を巻き込んで協働・協創していく能力
- ▶地域に対する愛着、当事者意識

今年度の活動内容と課題：まちづくり環境整備

1. 学内において本事業の事業説明会を開催、参加学生を募集
 2. **事前調査と現地調査を実施、田村市の地域資源と地域課題を把握**
 3. 地域の魅力が伝わるような地域のイラスト・マップを制作(先送り)
 4. **田村市観光の情報サイトと周遊観光パンフレットを多言語化(英語、中国語、韓国語、タイ語→ドイツ語、フランス語、スペイン語、トルコ語、ロシア語等に翻訳言語を拡大)**
 5. 本事業の広報のために本学のホームページを改修
 6. **実態調査報告書を作成、報告会を開催**
- ⇨**田村市との連携協力関係の構築**

2022年度の事業内容及び取組の方向性

- ▶**多言語化プロジェクトと地域課題・地域資源の発見活動の継続**
 - ・田村市観光サイト・地域資源、本事業の進捗状況発信の多言語化
 - ・「**地元学(田村学)**」の教育プログラムの構築
 - ・地域資源として廃校舎等の利活用の検討
- ▶**田村市の小中学校におけるSDGs教育への協力**
 - ・本学学生や教員が**環境教育、SDGs教育のプログラムを提案**→依頼に基づいて授業を実施
- ▶**田村市の省エネルギー・地球温暖化対策・再生可能エネルギー導入策の研究**
 - ・地域省エネルギービジョン、地球温暖化対策実行計画、再生可能エネルギー導入促進策等について点検、ゼロ・ウェイストに向けた取り組み、脱炭素社会の実現に向けたワークショップ
 - ・地域の子ども・住民への環境教育の実施
- ▶**「持続可能なまちづくり」の情報発信**
 - ・本学ホームページを通じて本事業の進捗状況について情報発信

